

● いなか暮らし体験宿泊 『古民家友遊 多賀・八重練倶楽部』



茅葺き古民家で囲炉裏を囲む

多賀大社の森を間近に見下ろす多賀町八重練集落。そのなかほどにある茅葺き屋根の古民家が『古民家友遊 多賀・八重練倶楽部』だ。古い庄屋屋敷を所有者から借り受け、宿泊体験のできる『古民家友遊』を運営するのは、彦根市在住の岸川健さん。



特別な用事がない限り、昼間は友遊で過ごす岸川さんの長年の趣味は、陶芸。敷地の一角に灯油窯のある陶芸コーナーがあり、手ほどきを受けて陶芸体験が楽しめる。囲炉裏を囲み、家族や仲間と語り、薪ピザ釜で手作りピザを楽しめる。



鈴鹿の山歩き、芹川上流の川歩き、河内の風穴探検など、アウトドアライフの拠点としても便利。会員登録をすれば、グループ又は家族で食材を持ち込み、貸切り利用ができる。



- * 年会費 5000 円 (2 年目より 3000 円)
- * 日帰り体験 500 円/人
- * 宿泊体験 1000 円/人(会員は不要)
(貸布団は別途 1000 円/人)
- * 陶芸体験 1000 円/人
- * 石焼きピザ 1500 円~2000 円 (予約のみ)
- * 冬期は、暖房費 500 円
- * 食事は、無料配達で指定のお店からデリバリーも利用できます。
- * 住所 〒522-0351 滋賀県犬上郡多賀町八重練 602
- * 連絡先 090-1449-7254 (岸川 健)
- * プログ : <http://kominkayae.exblog.jp/>



陶芸体験、手作りピザなど豊富な体験メニュー



● まちなか暮らし体験宿泊 『ゲストハウス無我』



母屋で語らい、ハウスに泊まる

城下町時代、彦根藩足輕組屋敷が建ち並んでいた彦根まちなかに、『ゲストハウス無我』がオープンした。呉服屋のご隠居がすんでいた築90年の古民家を、村田一さん・典子さん夫妻が購入し、改修、増築したもの。母屋は、交流スペースに、庭の一角に宿泊棟を新築し、旅館業営業許可を取得している。



京都出身の会社員だった村田一さん、岐阜出身で看護師をしていた典子さんは、旅行が趣味。ともに日本の伝統木造建築に関心があり、適当な物件を探してきたが、彦根商工会議所の「小江戸ひこね町屋情報バンク」サイトで、まちなか古民家売りに出ていることを知り、取得した。



『ゲストハウス無我』を、「観光の拠点だけでなく、旅人さんたちの語らいの場になればと思っています。」と語る。昨年9月にオープンして以来、宿泊者は200人を超えた。海外からの利用者も増えつつあるという。



古家具、古民具がそのまま残る母屋、手水や飛び石が美しい庭。懐かしさ溢れる空間が、ゲストの訪問を待っている。



- * 男性・女性別 フロア及びロフト (相部屋のみ)
- * 洗面・トイレ・シャワー共用
- * コインランドリー、無料バスアメニティ、共用キッチン
- * エアコン・WiFi有り
- * 素泊まりのみ (自炊可能、大型スーパー直近)
- * 宿泊料 2800円 (寝袋持ち込みは、2400円)
- * 住所 〒522-0087 滋賀県彦根市芹橋1-4-43
- * 連絡先 090-8571-5796 (村田 一)
- * ホームページ : <http://hikone-muga.com/>



庭に新築の清潔、快適なゲストルーム

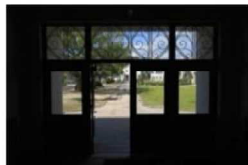
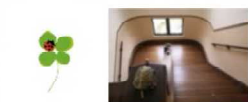
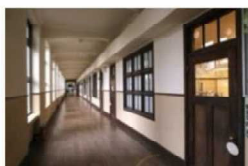


豊郷小学校旧校舎群

〒529-1169
滋賀県犬上郡豊郷町石畑 518 番地
連絡先：豊郷小学校旧校舎群 酬徳記念館内
0749-35-3737

愛荘町 びんてまりの館

〒529-1313
滋賀県愛知郡愛荘町市 1673 番地
連絡先：0749-42-4114



左：校舎…「白亜の教育殿堂」「東洋一の小学校」として愛された校舎。
右上：廊下…広く長い廊下から、明るい陽射しと新鮮な空気が教室に取り込まれる。
右中：階段
右下：講堂玄関

けいおん！の聖地

滋賀県に数多くの建築を残したアメリカの建築家
ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）が
設計した、豊郷小学校は、今、「けいおん！の聖地」
として、新たな歴史を刻みはじめた。

《ウサギとカメ》



インソップ物語「ウサギとカメ」
をモチーフとしたブロンズ像。
階段を昇りながら物語が展開
してゆく。

《けいおん！》

深夜アニメ『けいおん！』の校舎モデルとなった旧豊郷小学校。
「けいおん！聖地」としての人気が高まり、商工会も旧図書館で
「けいおん！カフェ」をオープンした。高校生バンドコンテスト
「とよさと軽音楽甲子園」が、旧講堂で行われている。



全国から選ばれた高校生バンドによる
決勝大会。

検索キーワード：旧豊郷小学校



糸が紡ぐ地域との絆

「不思議な手芸品。」
それはまるで、糸と糸とが奏でる、音楽のよう。
『びんてまりの館』は、旧中山道愛知川宿の近くにある、
愛知川図書館に併設された地域ミュージアム。
びんてまりの美しさは、繊細な手仕事から作り出される優
雅さ、そして幻想性にある。
誰が考えたのか、いつから登場したのか、はっきりとした
ことはわかっていない。
その昔・・・
今より物もなく、けて満ち足りているとは言えない忙し
い日々の暮らしの中で、美しい物への憧れは、女性を強く、
そして、輝く存在へと導いていったにちがいない。



上：びんてまりの館内
「びんてまり」の不思議さに魅了
され、愛荘町に訪れる人は、後を
たたない。
左下：青木ひろ（1887-1973）
びんてまりの技術を伝承した、青
木ひろさんが亡くなったことを
きっかけに、「保存会」が生まれ
た。
右下：愛知川図書館中庭



近所 SPOT

《愛知川図書館》

びんてまりの館に併設する、愛知川図書館。
先進的な図書館づくりに対して与えられる「Library of
the year 2007」を平成9年に受賞。



《学芸員の 小川亜希子さん》



「びんてまりは、不思議な手芸品。」と
語る小川さんは、仕事のため、兵庫から
滋賀へ来て15年。
びんてまりの糸が繋いだ地域との絆は、
今も途絶えることはない。

検索キーワード：愛知川びんてまり

多賀「里の駅」一圓屋敷

〒522-0317
滋賀県犬上郡多賀町一円 149 番地
連絡先：多賀クラブ（中川信子）
（090）8791-4470



注目の農家レストラン

澄んだ空気と鳥の声、女性たちの心のおもてなし。江戸時代に建てられたという築150年の庄屋敷は、今、多賀「里の駅」一圓屋敷、そして、「農家レストラン」として沢山の人々に愛されている。そこで提供されている地産地消メニュー「多賀里の駅季節の御膳」は、平成25年11月「地産地消給食等メニューコンテスト」で農林水産大臣賞を受賞。自然を守り続けている人達だからこそつくれる、優しい空間がそこにはある。多賀クラブに関わる人たちの想いは、毎月第一土曜日に行われる「野菜市&集い」と、地元で採れる旬の野菜料理となっており、人々に伝えられてゆく。



上左：定例会
上右：一圓屋敷 正門
下左：一圓屋敷 野菜市
下右：嫁入り籠

《多賀クラブ：栗本泉さん(左) 桂喜代子さん(右)》
今年で7年目。
活動を通して人との繋がりが増えた、と栗本さん。
「美味しかったよ」の声が、何より嬉しいと桂さん。



近所 SPOT



くるす 《栗栖のスギ》

杉坂峠「栗栖のスギ」は御神木とも呼ばれ、多賀大社万灯祭の元火となる御神火がおこされる。県下最大の木。高さは37メートル。



やえわり 《八重練そば畑》

多賀は、県内有数の蕎麦の生産地。9月にはあちらこちらで白く可憐な蕎麦の花を見ることが出来る。



《野鳥の森》

全国から野鳥愛好家が訪れる、自然の宝庫である。芦谷ダム湖畔の野鳥の森には、シジュウガラ、ヒヨドリ、カイツブリなど70種を越す鳥が生息している。



検索キーワード：多賀一圓屋敷

道の駅 せせらぎの里こうら

〒522-0252
滋賀県犬上郡甲良町金谷 1549 番地 4
連絡先：0749-38-2744



地産地消の交流

国道307号沿いの「道の駅 せせらぎの里こうら」は、平成25年3月23日、湖東地域唯一の道の駅としてオープン。地域の人の笑顔とそこを訪れる人の心を結びつけるのは、地元で採れたお野菜と、手作りの加工品たち。お店には、旬の新鮮野菜や果物をはじめ、漬け物や味噌、地元産米粉を使った手作りパンなどが、ところ狭しと並んでいる。甲良町のキャラクター「ココラちゃん」グッズもかわいらしくお客様をお出迎え。湖東三山に訪れた際は、是非立ち寄りて欲しいスポット。



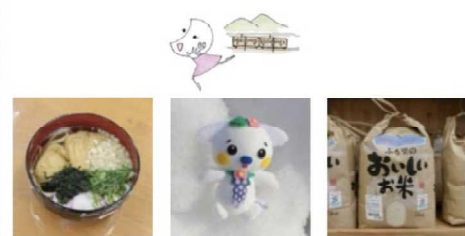
上：道の駅 せせらぎの里 外観
下：道の駅 せせらぎの里 店内

《レジ担当の女性たち》
どうぞ気軽に声をかけてください。



《おすすめの軽食コーナー》

入り口左手にある軽食コーナーには、地元の食材を材料に使った「四大偉人コンニャク串」「せせらぎうどん」「梅ソフトクリーム」など、低価格で美味しいメニューは、賞味する価値あり！



近所 SPOT



《手作り工房 せせらぎ (甲良町社会福祉協議会)》

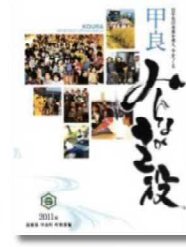
焼きたてのパンは全て100円。オススメは自家製カスタードのクリームパン。焼き菓子やチーズケーキも人気！近くの畑では、黄花コスモス畑を栽培している。初夏から秋にかけて見ごろ。



検索キーワード：近畿道の駅 せせらぎの里こうら

滋賀県湖東地域 問合せ先一覧

自治体	<ul style="list-style-type: none"> ●彦根市役所 企画振興部企画課 〒522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号 TEL 0749-22-1411 (代表) FAX 0749-22-1398 ●愛荘町役場 総合政策課 《愛知川庁舎》 〒529-1380 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川 72 TEL 0749-42-4111 (代表) FAX 0749-42-6090 《秦荘庁舎》 〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 825 TEL 0749-37-2051 FAX 0749-37-4444 ●豊郷町役場 総務企画課 〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑 375 TEL 0749-35-8111 (代表) FAX 0749-35-4575 ●甲良町役場 企画監理課 〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土353-1 TEL 0749-38-3311 (代表) FAX 0749-38-3421 ●多賀町役場 企画課 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀324 TEL 0749-48-8111 (代表) FAX 0749-48-0157
	<ul style="list-style-type: none"> ●彦根商工会議所 〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 TEL 0749-22-4551 FAX 0749-26-2730 ●愛荘町商工会 《愛知川支所(本部)》 〒529-1331 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川72 TEL 0749-42-2719 FAX 0749-42-5608 《秦荘支所》 〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 811-1 TEL 0749-37-3951 FAX 0749-37-3731 ●豊郷町商工会 〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑374-6 TEL 0749-35-2022 ●甲良町商工会 〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土351-4 TEL 0749-38-3530 ●多賀町商工会 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀230-1 TEL 0749-48-1811
	<ul style="list-style-type: none"> ●彦根観光協会 〒522-0001 滋賀県彦根市尾末町 1-51 TEL 0749-23-0001 FAX 0749-26-1919 ●愛荘町愛知川観光協会 〒529-1380 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川72 TEL 0749-42-7683 ●豊郷町観光協会 〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑 518 豊郷小学校旧校舎群 酬徳記念館内 TEL&FAX 0749-35-3737 ●甲良町観光協会 〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土353-1 甲良町役場産業課内 TEL 0749-38-5069 FAX 0749-38-5072 ●多賀観光協会 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 324 TEL 0749-48-1553
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ●湖東地域定住支援ネットワーク 〒522-0038 滋賀県彦根市西沼波町 21 エコー・ウッド館 2F TEL&FAX 0749 26 5750 ●NPO 法人五環生活 〒522-0063 滋賀県彦根市中央町 7-40 TEL 0747-26-1463 FAX 0749-26-1463 ●鳥居本お宝発見隊 〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町 655-1 サンライズ出版(株)内 TEL 0749 22 0627 ●NO 法人とよさとまちづくり委員会 〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑 374-6 豊郷商工会内 TEL 0749-35-2022 FAX 0749-35-4522
地域団体等	



*一市四町要覧表紙

座・楽庵「おとくら」

〒522-0201
滋賀県彦根市高宮 1121 番地
連絡先：0749-22-7661



高宮宿のお休み処

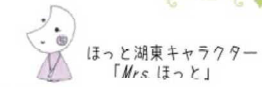
旧中山道まちあるきをする人におすすめのスポット。
音と人と地域を繋ぐ音楽スペース。
手作りクッキーと珈琲が人気のカフェ。
たくさんアートと人が交感するギャラリー。
中山道の宿場町、高宮の古民家は、今、滋賀県立大学の学生達により、コミュニティースペースとして土日
に運営されている。

上左：おとくら全景
上右：おとくら喫茶
下左：おとくらギャラリー
下中：ミーティングの様子
下右：おとくらコンサート

《リーダー 久保 晃さん》



熱き思いで仲間を統率する。滋賀県立大学の学生地域活動支援プロジェクト「近江楽座」の学生委員会リーダーを平成24・25年度の2年間務める。



ほっと湖東キャラクター「Mrs hotto」



検索キーワード: ギャラリー喫茶おとくら



刊行物 「湖東ライフ読本」 滋賀県移住ライフスタイル情報発信事業（湖東地域）
 刊行年月日 平成26年（2014年）3月
 主管課名 滋賀県総務部市町振興課
 所在地 大津市京町四丁目1番1号
 電話番号 077-528-3231
 FAX番号 077-528-4820
 電子メール bh00@pref.shiga.lg.jp
 企画制作 湖東地域定住支援ネットワーク
 印刷 (株)プリントバック

この冊子の著作権は、滋賀県が有し、滋賀県の許可なく無断で複製、二次使用する行為またはこれに類する行為を禁じます。

企画・編集

奥貫隆
 中西茂行
 白谷仁子
 塚本洋子
 小山義忠
 木村住代子

撮影

奥貫隆

協力

湖東移住・交流プラットフォーム
 彦根市企画課
 愛宕町総合政策課
 豊郷町総務企画課
 甲良町企画監理課
 多賀町企画課
 NPO法人環人ネット
 NPO法人とよさとまちづくり委員会
 設計士同人社
 (株)滋賀原木
 サンライズ出版(株)
 大滝山林組合
 石川建築設計事務所

取材協力

迫間勇人
 迫間加奈子
 平野和俊
 平野香陽子
 染森義孝
 宮崎瑛圭
 藤澤泰平
 藤井碧
 西村健之
 田中由美子
 西川幸子
 栗本泉
 桂喜代子
 小川亜希子
 岸川健
 村田一
 村田典子

滋賀移住・交流促進協議会について

滋賀県では、滋賀への移住・交流居住の促進や空き家活用に係る情報を共有するために、地方公共団体、大学、各種団体等で協議会を構成し、定例的に会議を開催しています。協議会の事業として、関西を中心に「お住みつき滋賀セミナー&移住相談会」を定期開催するほか、東京及び大阪で開催される全国規模の「ふるさと回帰フェア」に参加し、滋賀県の暮らし情報、移住交流情報を発信しています。滋賀県各地への移住・交流居住をお考えの方は、下記までお問い合わせください。

■ 地方公共団体

○滋賀県庁
 滋賀県市町振興課（事務局）
 ☎ 077-528-3243 Mail bh0001@pref.shiga.lg.jp
 滋賀県農村振興課
 ☎ 077-528-3961 Mail kozawa-kenichi-b@pref.shiga.lg.jp
 ○湖北地域
 長浜市北部振興局地域振興課
 ☎ 0749-82-4111 Mail hokubu-chiiki@city.nagahama.lg.jp
 米原市政策調整課（水源の里振興担当）
 ☎ 0749-58-1121 Mail suigen@city.maibara.lg.jp
 ○湖西地域
 高島市市民活動支援課
 ☎ 0740-25-8526 Mail shiminkatudo@city.takashima.shiga.jp
 ○湖東地域
 愛宕町総合政策課
 ☎ 0749-42-7684 Mail scisaku@town.aisho.lg.jp
 多賀町企画課
 ☎ 0749-48-8122 Mail kikaku@town.taga.lg.jp
 ○湖南地域
 湖南市企画調整課
 ☎ 0748-71-2316 Mail kikaku@city.shiga-konan.lg.jp
 ○甲賀地域
 甲賀市政策推進課
 ☎ 0748-65-0670 Mail koka10041000@city.koka.lg.jp

■ 大学

○滋賀県立大学地域共生センター
 ☎ 0749-28-9852 Mail ueda.y@office.usp.ac.jp

■ 各種団体

○いざない 湖北定住センター
 ☎ 0749-50-1019 Mail cohok-style@leto.eonet.ne.jp
 ○湖東地域定住支援ネットワーク
 ☎ 0749-26-5750 Mail cotohnet@gmail.com
 ○NPO 法人結びめ
 ☎ 090-5014-1600 Mail info@musubime.tv
 ○甲賀市都市農村交流推進協議会
 ☎ 0748-65-0711 Mail ninjanosato@gmail.com

編集後記

春、二月。季節の巡りのなかで、いちばん待ち遠しく、心浮き立つ季節の到来。暖かい陽射しに、田の畦や道端には、オオイヌノフグリ、ツクシ、ヒメオドリコソウ。里山に足を踏み入れると、かすかに稲を膨らませ始めた落葉樹の根元に、イチリンソウ、セツブンソウなどがひっそりと白い花を咲かせている。冬の間、褐色にと白った田んぼが、春風の到来と共に揺り起こされ、水が注がれると、田植えの季節までは、もう、ひと月はじかない。

滋賀県市、町そして地域団体等が連携し、滋賀県各地への移住を支援、促進する活動に参加するようになって、かれこれ4、5年ほどになる。湖東地域の歴史、文化、暮らしについて情報発信することは、私たち自身が、その土地の特色や魅力を知ることであり、守り続けるべき大切なことについて学ぶことなのだ。

県内外から湖東に移り住んできた人、あるいは都府県暮らしを体験して、再びふるさとでの暮らしに挑戦している人。そして、生まれ育った場所を愛し、守り続ける人・・・。彼ら湖東人（とっとうび）が語るライフスタイルは、日々、くり返される私たちの日常に、小石を投げ込んでくれた。小さな波の輪のように生まれたこの冊子は、湖東へ移り住むことを考える人たちへのメッセージ。ゆつくりとゆつくりとひろがりゆく波紋を、湖東人とともに見守っていきなさい。

